



2022年度 山県市教育センター要覧

雁の群れの秘密

山県市教育センター 所長 森川 勝介

冬を越すために南に向かう雁が、V字型の編隊を組んで飛んでいくのはなぜでしょうか。

実は、V字編隊で飛ぶと、一羽で飛ぶよりも7割も遠くへ飛べるそうです。前の雁が羽ばたくと、後続の雁のために、上昇気流を作り出すことができるので、後続の雁は楽に飛ぶことができます。後ろの雁は、ガーガー鳴いて前の雁を励まします。先頭の雁は疲れると最後尾に回って、別の雁と交代します。

V字型の編隊から脱落しそうになっても、一羽で飛ぶと抵抗が大きいため、すぐに編隊に戻ってきます。

群れの一羽が病気や怪我で脱落すると、二羽の雁が助けるために、付き添って地上に降りてきます。この二羽は、脱落した雁が回復するか、死ぬまで一緒にいて、その後の新しい群れに加わるか、独自の編隊を作って元のグループに追いついていくのです。

仲間同士、助け合って飛ぶことによって大きな力を作り出し、一羽では考えられないくらい遠くまで飛んでいくことができます。

人間も同じだと思います。私は、昨年度まで勤務していた中学校で、毎年3年生に対して「受験に向けての学習は個人戦ではありません。団体戦です。」と言い続けてきました。ずっと昔、私が中学校3年生の学級担任をしていた頃、同じ学年で「いじめ」や「仲間はずれ」のある学級では、ボーダーライン上の子どもたちがことごとく不合格になりました。逆に「みんなで頑張ろう」という雰囲気のある学級は、同じボーダーライン上の子どもたちが合格していきました。

「みんなで頑張ろう」という学級は、みんな「自分はこの学級の一人なんだ。みんなで頑張ってきたんだ。」という思いをもっています。その思いが、自分の最大限の力を発揮させるのです。自分の居場所があるかないかというのは、大きなことなのです。

雁の群れと同じなのです。

もちろん、受験生に限ったことでなく、1, 2年生の授業でも、小学校でも同じです。家族でも同じことがいえると思います。

仲のよい学級、仲のよい職場、仲のよいチーム、仲のよい家族であれば、みんなの最高の力を発揮できるのではないのでしょうか。

お互いに「ありがとう」と言い合えるような雰囲気があれば、お互いに認め合うことができ、最高の力の発揮につながっていくはずです。

一年間、よろしく願いいたします。

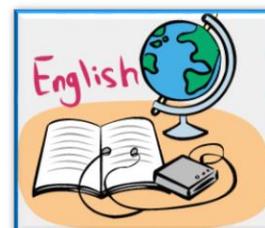
「いじめ、不登校等、長年学校が抱え続ける課題解決へのアプローチ」「10年先から今を見た教育の役割へのアプローチ」

2022(R4)年度 教育センター事業

I 研 修

< 1 基本研修 >

名 称	内 容	対 象	期 日
1 歴史探訪	山県市に初めて赴任する教職員が、文化遺産等について学び、教育に生かす。	新赴任者(悉皆) +希望者	10/19 予定
2 初任者教員研修会	新規採用教員として必要とされる基本的事項の研修を行う。	新規採用職員 (事務・栄養含む)	7/5 11/15
3 こども支援員・教育サポーター・英語活動支援員研修会	児童生徒への具体的な支援のあり方や、支援者としての資質向上を図る。	こども支援員・教育サポーター・英語活動支援員 +希望者	5/16 10/17
4 英語教育推進委員会	英語教育推進教師として、現任校の英語指導力の向上を図る。	英語教育推進教師 +希望者	6/6 12/6
5 読書指導員研修会	読書指導員としての職務及び読書指導の研修。	読書指導員	6/3
6 特別支援教育コーディネーター研修会	特別支援教育コーディネーターとしての資質の向上を図る。	特別支援教育コーディネーター +希望者	5/23 10/27
7 教育相談担当者研修会	児童生徒の自立支援のため、教育相談体制の充実や教職員の教育相談に関する資質・能力の向上を図る。	生活相談員、児童・生徒相談員、学校教育相談担当者 +希望者	5/11 10/5
8 情報教育推進委員会	情報教育の推進及び充実により、情報の有効な活用や教育活動の質的改善を図る。	情報教育推進委員	調整 中
9 学校人権教育推進委員会	児童生徒及び教職員の人権感覚を高め、人権教育の推進及び充実を図る。	人権教育担当者	5/30 2/14
10 防災科学教育研修会	災害への理解と対応	教頭 +希望者	7/26



<2 選択研修(新研修システム対象講座)>

	名 称	内 容	対 象	期 日
選 択 講 座	スクールワイドPBS (積極的な行動支援)	学校全体で取り組む「積極的な行動支援」 講師 岐阜大学 平澤 紀子 教授	高富小職員 +希望者	1回目 5/16 2回目 2月予定
	山縣市立学校共同研 修会	各教職員個人のニーズに応じて各学校等 の研修会に参加	県費常勤教職員	テラスステーショ ンで情報共有

II 調査・研究

	名 称	内 容	対 象	期 日
11	教育実践論文・実践記 録・自作教具	教育実践論文を募集し、主体的な研究実践を 奨励する。	教職員	審査会 1/12
12	プロジェクト研究	主体的・対話的で深い学びにつながる教材開 発等を行う。	研究員を委嘱	6/7 11/18 1/18
13	社会科副教材作成委 員会	社会科の教科書の内容に合わせ、市の文化・自 然・社会の教材化を図る。	作成委員	6/9 7/27 1/31

III 情報収集・発信

事 業 名	事 業 内 容
教育センター要覧の発行	センター事業の方針や内容
センターだより「いしずえ」	センター関連事業等の掲載
図書(児童・教師用)等の貸出	センター蔵書(含:大型絵本、教科書)
テラステーション (データ管理)	スタートカリキュラム、国語作品集、社会科副読本 市教研・校内研の授業案、公表会案内 山縣市立学校共同研修会、情報プロジェクト研究等
拡大コピー(白黒・カラー)	大型掲示 垂れ幕等
情報交流会(生徒指導・教育相談)	支援を必要とする各校の実態を共有し、個に応じた支援の充実 を目指す。(課長補佐、エリア担生指、次長、主任児童・生徒相 談員、主任こども支援員、主幹教諭、指導教諭、児童・生徒相談 員)
	5/27 7/29 9/30 11/25 2/24

IV 教育相談

<適応指導>

教育支援センター(適応指導教室)「コスモス」

趣旨 登校しぶりや発達特性などでの困り感のある児童生徒と家族を応援する。

- ① 生活相談員による支援（長期休業中を除く）

「コスモス」 教育センター内にある美山教室が事務局です。個別の支援を行う場所は、高富中央公民館も含め相談の上決定します。

美山教室 山県市教育センター内 TEL：52-1571
9時00分～14時30分（基本）

- ② 児童・生徒相談員による支援

各学校の実態に応じ、児童・生徒相談員を派遣し教育支援を行う。

<電話相談>

趣旨 学校教育にかかわる不安や悩みなどの相談に対応し、適切な支援を行う。

窓口 教育支援センター(適応指導教室)「コスモス」 TEL：52-1571

日時 月曜日～金曜日 9時00分～15時45分

V 児童生徒対象事業

事業名	事業内容	期日
夏休み作品相談	電話で相談を受け、専門教諭が助言にあたることによって作品の向上を図る。	夏期休業中
夏休み作品展	優れた作品の展示を行い、教科学習の促進を図る。	9/2～9/4
子どもの作品	各校の作文・詩・感想文等、優れた作品をテラステーションにアップし、その作品を活用して児童生徒の表現力を高める。	随時

※「こどもの市展」は、R2年度から花咲きホール担当事業となりました。

VI 貸出物品

	物 品 名
教材教具	スクリーン 譜面台
野外活動関係	キャンプファイヤー関係 野外炊事調理器具 キャンドルサービス用具等 もちつき用具 (白, 杵) 焼き杉用具
図 書	山県市採択の小中学校教科用図書 小中学校の検定教科書 (各社) センター図書 (教職員用・児童生徒用) 小学校回覧 (大型絵本)
諸検査用具	W I S C - III (知能検査器具・知能検査記録紙) W I S C - IV (知能検査器具・知能検査記録紙) W I S C - IV検査説明書 グッドイナフテスト (ハンドブック・記録用紙)



センター職員

所 長	(学校教育課長)	森川 勝介
次 長		河村 一彦
主任児童・生徒相談員(教育相談専門監)		原 永子
主任こども支援員(主任特別支援教育コーディネーター)		神山 基子
学校活動支援員		酒井 昭明
センター事務(兼スポ少担当)		中村 誠治
主 幹	(学校教育課)	山口 正尊
課長補佐	(学校教育課)	田中 香織
課長補佐	(学校教育課)	深尾 寛

児童・生徒相談員 (各中学校『教育相談室』)

高富中：今瀬 弘典 伊自良中：村田 雅代
美山中：菊地 昌代

生活相談員 (教育支援センター(適応指導教室)『コスモス』)

村瀬 文 ・ 北洞 雅子 ・ 白田 佑里奈 ・ 徳野 美帆

<生涯学習課関係>

放課後子ども教室コーディネーター

山田 立晴 ・ 丹羽弥寿良 ・ 田中 一慶

未来塾コーディネーター

野澤 宏邦

体育協会事務局

谷端 良夫

スポーツ少年団事務局

中村 誠治 (センター事務が兼務)

児童・生徒の健やかな成長

教職員のスキルアップ

<重点事業>

- ・「山縣市立学校共同研修会」自主参加型の選択制研修システム
- ・「プロジェクト研究」(主体的・対話的で深い学びにつながる教材開発)
- ・「山県みらい留学センター」の充実

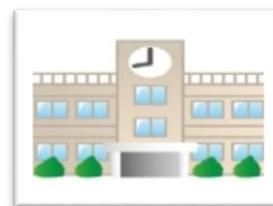
<強化事業> (主任児童・生徒相談員・主任こども支援員の積極的利活用)

- ・通常学級における支援の必要な児童生徒への対応
- ・学校のケースワーク力(教育と福祉をつなぐ)向上の支援
- ・いじめや自死の未然防止への対応



沿革

- 平成15年度 *山県市教育センター設置
- 平成16年度 *センター次長配置
*相談員と学校担当者の合同連携研修会発足
*山県市生涯学習リーダー登録者名簿発刊
*センター広報紙「いしずえ」初版発行
- 平成17年度 *新規15事業開設
- 平成19年度 *事業の整理統合, 新規2事業(学校教育)
- 平成20年度 *事業の整理統合, 新規7事業(教職員研修)
- 平成21年度 *学校地域支援本部との連携
- 平成22年度 *センター移転(旧富波小学校へ)
*適応指導教室『コスモス』統合
*大研修室にエアコン設置
- 平成23年度 *主任教育相談員, 主任学習支援員配置
*2階研修室にエアコン設置
- 平成28年度 *山県市体育協会事務局を教育センターに配置
- 平成29年度 *主任特別支援教育コーディネーター配置
*10月 『コスモス分室』を, 高富中央公民館内に設置
- 平成30年度 *「放課後子ども教室」(スタディベイト)コーディネーター配置
- 平成31年度 *SSW(スクールソーシャルワーカー) 配置
- (令和元年度) *「地域未来塾」コーディネーター配置
- 令和4年度 *「学校活動支援員」配置



山県市教育センター

〒501-2257 岐阜県山県市富永495番地3

TEL 0581-52-1007

FAX 0581-51-0030

E-mail k-center@yamagata-gifu.ed.jp